



創立100周年を節目に 新会館完成

佐賀県歯科医師会は1916年の創立以来、県民の豊かで健康な暮らしを支えてきた。創立100周年を節目に、今年、会館を新築した。新会館は、ガラス張りでモダンなデザイン。県民との交流の場、歯科医療の情報発信拠点として、より地域に根差した事業を展開していく。新たな100年に向けた今後の取り組みについて、フリーアナウンサーの一ノ瀬裕子さんが佐賀県歯科医師会会長の寺尾隆治氏に聞いた。

フリーアナウンサー
一ノ瀬 裕子さん

佐賀県歯科医師会 会長
寺尾 隆治氏

県民の生活医療を支えこれからも



イベントホール[1階] 毛布や水を備蓄し、地震や水害など災害発生時の避難所としての機能も

地域に開かれた新会館

一ノ瀬 創立100周年、そして新会館の落成、おめでとうございます。

寺尾 ありがとうございます。おかげさまで100年間、先輩方の築いた伝統を受け継ぎながら、地域に寄り添い、県民の皆様の健康な生活にさらに寄与することを目指しております。

一ノ瀬 新会館は全館バリアフリーで明るく、1階にはイベントホールもできましたね。

寺尾 より地域に開かれた場所になってほしいと、どなたでも立ち寄りやすく、利用しやすい造りにしました。会員に限らず、県民の皆様に広く活用していただきたいと思っています。

一ノ瀬 地震や水害など災害発生時の避難所としての機能も備え、時代に合った建物に変わりましたね。

寺尾 耐震性はもちろん、毛布や水の備蓄も万全です。将来は食料の備蓄も考えており、災害時は「ここに来れば安心」というように地域に役立ててもらいたいと考えています。

生活の医療としての使命

一ノ瀬 県内の歯科医師で構成される佐賀県歯科医師会の理念は何ですか。

寺尾 「生命の医療」といわれる医科に対し、歯科は「生活の医療」といわれます。当会は、歯科医療を通じて県民の皆様の健康を守り、生活の質(QOL)の維持や向上に貢献することを目的に活動しています。

一ノ瀬 お口の健康は体の健康、さらには私たちの生活を守ることに繋がっているんですね。

寺尾 お口の中の環境と全身の健康との関係は近年明らかになってきました。特に、歯周病と糖尿病の関係は注目されています。糖尿病で高血糖状態が続くと感染症にかかりやすくなり、歯周病がさらに悪化する可能性が高くなるといわれています。反対に、歯茎の中の炎症性物質が、血糖をコントロールするインスリンの働きを妨げて糖尿病を悪化させる可能性があることも分かってきました。

一ノ瀬 すると、両者のリスク管理を行えばそれぞれの症状は改善しますか。

寺尾 はい。特に2型糖尿病の人については、歯周病の治療でインスリンの働きが改善することが報告されています。また、歯周病の人には治療の一方で内科を受診することを

勧め、糖尿病の早期治療につなげています。このほかお口の中の環境は、呼吸器や消化器との関係も研究されていて、入院されている方についても、お口の中のケアをきちんとすることで在院日数が少なくなるというデータも出ています。

一ノ瀬 歯科治療は医療費の削減にもつながっているんですね。

超高齢化対策。65健診のススメ

一ノ瀬 日本は今、超高齢化社会です。佐賀県でも健康寿命を延ばす取り組みが行われていて、県歯科医師会もその一端を担っていらっしゃいます。

寺尾 佐賀県の「さが元気プロジェクト74」の一環として、昨年度から佐賀県在住の満65歳の方を対象に、歯の無料検診「65(むつごろう)健診」を始めました。全国に先駆けた取り組みです。

一ノ瀬 佐賀の土地にちなんだ語呂合わせで、覚えやすいですね。

寺尾 歯科医院対応型なので、皆様の都合に合わせて受診できます。歯周疾患や口腔(くう)がん検診、嚥(えん)下・かみ合わせ機能の評価や歯磨きの指導なども行います。県民の皆様には何歳になっても、自分の歯でおいしく食べて、元気に社会参加をしてほしいと考えています。



「がばいおいしかシリーズ」による普及啓発活動も行うテーマ別に歯と健康についてまとめた小冊子

すべての県民に十分な歯科医療を

寺尾 高齢化の時代に応じた取り組みとして、自力で歯科医院に通えない方のためのお口の中のケアに力を入れています。特に、訪問歯科診療の実施率は全国トップクラスです。

一ノ瀬 確かに、訪問歯科診療の事は聞いたことがあります。自宅や入院先に来てもらうことで、これまで歯科治療を十分に受けられなかった人たちの歯の健康も守られるようになりますね。

寺尾 病院のスタッフが歯磨きなどを補助する施設もありますが、1~2週間に一度は専門の知識や技術を持つ歯科医や歯科衛生士の、効果的なケアを受けてほしいです。そのため、医科との連携を大切にしています。医師や看護師、ケアマネジャーと患者さんの状況を確認しながら、治療を行います。

一ノ瀬 歯科治療の形に幅ができた分、歯科医の皆さんも幅広いスキルが求められますね。

寺尾 当会では、訪問診療や高齢者診療のほか、障がい者への歯科治療を行うスペシャリストの養成事業も推進していて、現在、各市町に1~2人の障がい者の専門歯科医を配置しています。また、緊急時の救急蘇生法や院内感染の講習を開いたり、歯科医師以外の歯科従事者「コ・デンタルスタッフ」の養成にも力を入れるなど医療の充実を図っています。これから先の100年間も、社会の変化に合わせてながら、県民の皆様に安全な歯科医療を十分に提供できるような事業を実行していきます。

一ノ瀬 ありがとうございます。